

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600424
事業所名	グループホーム はなえくぼ江南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 今年度は社会貢献の一環として、ホーム会議室を会場に提供し、某企業が毎週木曜日に初任者研修を開催している。ホームから4名が参加し、地域からも4名の参加がある。散歩時の挨拶他、地域とのつながりの継続で、認知度は確実に上がっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 当推進会議を年6回実施し、家族代表・地域包括支援センター・民生委員の出席がある。多方面からホームの運営に活発な意見交換が行われ、内容は職員周知で運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は、地域包括支援センターの運営推進委員として参画したり、地域包括ケア認知症部会の委員を務めたりと、認知症介護の専門家として連携している。市役所の担当部署とは、運営に関する相談や報告で、適切に連携している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「暮らしの日記」に本人の毎日の様子を1行表記で記録し、毎月家族あてに送付し、情報提供している。家族からは具体的な要望や意向を出しやすいと好評で、来訪時に個別面談で聴き取りを行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	×	○	○	○	○	○		